

令和4年度 第1回三島市図書館協議会 会議録 [概要]

1 開催日時

令和4年7月13日（水）午後1時30分から午後3時00分まで

2 開催場所

生涯学習センター3階 市民ギャラリー

3 出席者

(1) 委員（順不同）

段 千恵子、白井 由美子、西山 敦子、井上 雅晴、小澤 高好、竹山 美奈子、
西島 真美 計7名

(2) 事務局

西島教育長、鈴木教育推進部長、米山館長、下館館長補佐、中島館長補佐、市川主幹、
志村主任司書、木本主任司書、越沼司書、菊地副主任

4 会議の公開・非公開の別

公開

5 傍聴人の人数

0人

6 会議の内容

(1) 開会

(2) 教育長挨拶

(3) 委員紹介

(4) 会長挨拶

(5) 職員紹介

(6) 議事

① 令和3年度 図書館利用状況について

② 令和4年度 図書館事業計画について

③ 新型コロナウイルス感染症による図書館サービスへの影響について

議事①から③について事務局より説明の後、次のような質疑応答・意見があった。

(委 員)	図書館講座を、会場参加とオンラインの両方で実施できたのは良かった。この経験を活かして、今後もハイブリット形式での開催を継続できればよいと思う。例えば今後、中郷文化プラザで図書館講座が企画されているが、居住地から遠い場合は参加しづらいということがある。オンラインなら、新型コロナの状況にも左右されずに開催できる。
(事 務 局)	オンライン開催にあたっては、職員の習熟度も必要だが、講師の承諾が得られるかどうかという問題がある。図書館としては、できることはやっていきたいという思いでいる。

(委 員)	企画展示だが、同じ内容で本館と中郷分館を移動するというのをやっても良いのでは。
(事 務 局)	本館では、市役所各課と連携して実施しているものがある。中郷西中学校と中郷中学校の生徒さんに、おすすめの本を自作のPOPで紹介していただく企画などは、中郷分館と本館の両方で展示している。
(委 員)	空間と時間に囚われずに済むのがオンラインの利点。アーカイブ配信があると参加者が増えるので、ITに詳しいボランティアの力を借りるなどして、検討してもらえれば嬉しい。
(委 員)	新型コロナの感染状況には波があるが、世の中の流れとしては、日常に戻していく方向のように思う。図書館としては、サービスを実施していく上での基準のようなものはあるか。
(事 務 局)	県立中央図書館や、近隣図書館の対応を参考にしている。また、生涯学習センターと足並みを揃えている。机等の消毒をはじめ、基本的な安全対策はしばらく継続していく。今後は、コロナ前の日常に戻そうという動きになってくると思うので、状況を見極めながら対応していきたい。
(委 員)	サービスの提供方法が変更になった場合の周知の方法は。
(事 務 局)	ホームページや貼り紙などで周知しており、必要に応じて声かけなども行っている。
(委 員)	パソコンができない方から、困ったという声が寄せられたことはないか。
(事 務 局)	やり方が分からないという場合については、今後も引き続き、電話や窓口でも対応していく。
(委 員)	電話や窓口でも対応していることを、周知しても良いのではないか。
(委 員)	昨年度は、本校においてもおすすめ本のPOPを作成する活動などを実施しており、今年も、委員会活動などを通して、学校のほうからも地域に発信していけたらと思う。 このような状況下ではあるが、読み聞かせなど、学校の中では会えない地域の方々との交流を通して、子どもたちに様々な体験の機会を提供したいという思いがある。 中郷分館で行われる図書館講座も、場所的に近いので紹介したい。生徒たちは、夏休みにタブレットを持ち帰るので、今後、講座がオンラインで開催されることがあれば、体験の場が広がると思う。
(委 員)	『図書館概況』6頁の表によると、令和3年度と4年度で正規職員が2名減となっている。様々な事情があるのかもしれないが、サービスの低下につながるまいだろうか。今後、司書が退職する際にも補充を行わな

	いということはないと思うが、先日も、司書が1時間以上も丁寧にレファレンスを行っているのを見かけたので、目に見えない負担が増えることを心配している。
(委 員)	三島市は、学校図書館も含めて司書資格を保有している職員が多いので、他市の人にいいねと言われることがある。
(委 員)	『図書館概況』11頁に掲載されている「登録者数」の表だが、年齢区分のひとつが「13歳～19歳」「20歳～29歳」となっている。個人的には、中学生・高校生の利用状況を知りたい。19歳というと、大学生や社会人になっている年齢なので、「13歳～18歳」「19歳～29歳」のほうが良いのかなと思う。
(事 務 局)	今後、工夫したい。
(委 員)	『図書館概況』20頁「子どもと本の教室」の参加者数が、本館と中郷分館でずいぶん違うのはなぜか。
(事 務 局)	中郷分館において、期間を設けて開催したイベントの参加者数は、期間中の累計数となっている。
(委 員)	子どもたちがおすすめの本をPOPで紹介する企画には、三島北高の参加があったとのことだが、本館の展示に中学校が入る予定はないか。
(事 務 局)	授業の一環でPOPを作ることを行っている学校もあるので、先日開催された「学校図書館司書研修会」でも協力を呼びかけた。
(委 員)	居住地の近くの学校だと、興味を持つということがあると思う。
(事 務 局)	西島委員は、教育研究会図書班会のメンバーでいらっしゃるなので、実践例などをご紹介いただければありがたいなと思う。
(事 務 局)	昨年は、新型コロナの影響により受け入れがなかったが、中学生が図書館に職場体験に来た際にPOPを作ってもらい、展示するというこもやってきた。良い企画だと思うので、今後も力を入れていきたい。

④ 視察研修について

事務局より説明の後、新型コロナの状況次第ではあるが、近隣図書館への視察を実施する方向で決定した。

⑤ デジタル活用による図書館のオンライン化・自動化学業について

事務局より説明の後、次のような質疑応答・意見があった。

(委 員)	稼働開始時期は、いつごろを見込んでいるか。
(事 務 局)	特別整理明けの12月中旬頃を考えている。稼働にあたっては広報を行い、使い方のレクチャーも実施する。

(委 員)	函南町立図書館を利用しているが、自動貸出機はとても便利。自動返却機は、汚れた本がそのまま返却されてしまうかもしれないので、司書の負担が増えないようにお願いしたい。
(委 員)	電子書籍の導入も、今後、検討していただければと思う。
(委 員)	4月の朝日新聞に、電子図書館の導入館がこの1年で倍増したという記事が掲載されていた。
(事 務 局)	将来的には、導入の可能性はある。しかしながら現時点では、紙の本に比べて単価が高いことや、ラインナップに新刊の小説が含まれていないなど、発展途上の部分があるので、もうしばらく様子を見たい。

⑥ その他

(委 員)	本館と中郷分館の、雑誌の選書はどのように行っているか。
(事 務 局)	2館の間で取り寄せもできるので、なるべく重ならないように選んでいる。休刊となった場合は、同じような分野の雑誌があれば優先する。中郷分館には、地域柄、農業関連の雑誌も置いている。そのほか、速報性や日進月歩の情報なども考慮し、司書による会議を経て選定している。
(委 員)	一般の書籍も、分館に置くものは分館の職員が選書しているのか。
(事 務 局)	お見込みのとおり。本館には置いていないものを、あえて選ぶこともある。本館・分館で、互いの選書結果を確認している。
(委 員)	図書館のデジタルの活用には期待している。今後も、学校司書や図書館担当と連携して取り組みを継続し、校長会等でも紹介していきたい。
(委 員)	市立図書館と学校図書館は、システムで連携できるのか。
(事 務 局)	今回の事業で、学校図書館とシステムが連携するということはないが、業務の効率化により、学校との連携をより深めていけたら良いと思う。

(7) 閉会